

～哲学の道の概要～

(舗装済区間の状況写真)



(未舗装区間の状況写真)



(土系舗装試験施工実施箇所)



令和8年2月

哲学の道デザイン検討会議ニュースレター

Vol. 4

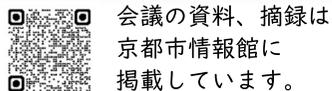
京都市では、哲学の道の路面デザインについて、京都にふさわしい景観に調和しかつ安全で通行しやすい道となるよう、専門家や地域の方々から意見や助言をいただくことを目的とする「哲学の道デザイン検討会議」を設置しております。

令和7年12月19日(金)に第4回の会議を開催し、事務局(京都市)からこれまでの検討会議の振り返りや各ゾーンの路面デザインのイメージを説明した後、委員の皆様から路面の整備について、様々な御意見を頂戴しましたので御紹介させていただきます。

～第4回 哲学の道デザイン検討会議の様子～



今後開催する「哲学の道デザイン検討会議」につきましても、今回と同様に随時、皆様へ会議の内容や状況をニュースレターでお届けいたします。



会議の資料、摘録は京都市情報館に掲載しています。
発行：哲学の道デザイン検討会議事務局
京都市：土木管理課(電話：075-222-3568)
京都市：左京土木みどり事務所(電話：075-791-9134)

道路や公園で損傷箇所を見つけたら「みっけ隊」アプリで投稿しよう！

「みっけ隊」はスマートフォンから道路等の損傷箇所を写真と地図情報で投稿できるアプリです。ぜひ、みっけ隊アプリをダウンロードして投稿して下さい！



みっけ隊 で検索！
みっけ隊ホームページ
<https://mikketai.city.kyoto.lg.jp>



皆さんからの投稿お待ちしております！



～各委員の皆様からいただいた主な御意見～

- ・土の道の良さを活かした形で、土の道での試験施工（しっかりした路盤の上に埃の出にくい川砂等を使う）をしていただきたい。
- ・ゾーン1の未舗装区間で窓ガラスが割れている家があるが、重量のある車がスピードを出して走っていることが被害の原因になっている可能性がある。

- ・土の優位性も含め考え、沿道の意向も大事にしてほしい。
- ・実験（試験施工）についても、実施してほしいと思っていた。

- ・大きな砂利は敷いて年が経つと土地が沈んでいく。小さな砂利も痩せていくため水たまりができ、ガタガタになると思う。
- ・新技術で土に近い舗装をすれば埃はなくなると思う

- ・試験施工を実施し、沿道の方や近隣住民が比べる対象を見て決めていくのがいいと思う。

- ・舗装（路盤）の上に土を重ねる方法は、雨のぬかるみや土埃等の問題が解決されるのか気になる。
- ・ゾーン3は特に景観への配慮が必要で、ゾーン1、2に比べてカチカチに舗装する優先度は低いと感じる。現状維持あるいは自然な風合いを残した土系舗装に賛成である。

- ・ゾーン1の舗装済区間は統一性がなくつぎはぎだらけなので、一貫性のある整備が必要ではないか。
- ・ゾーン2は生活道路の安全面を考えると砂利道の維持は難しいと思うので、最低限の舗装は必要ではないか。

- ・ゾーン1は車両が頻繁に通る凸凹がひどいので、補修の際もきれいに直すことができるようにしていただきたい。
- ・ゾーン2はつまづくような凸凹があると困るので、地盤を直したうえで舗装するのが良いと思う。

～哲学の道のゾーニング案～



店舗・住居や月極駐車場が多いエリア

車両通行可

風致地区等

ゾーン1
生活環境、道路の安心安全への配慮エリア

車両通行に対応しつつ、環境に配慮した景観系舗装

ゾーン2
生活環境への配慮エリア

生活環境、地域のニーズに合った土系舗装

ゾーン3
景観への配慮エリア

現状を維持する砂利舗装
自然的景観を維持する土系舗装

- ・新技術を使い2年ほどたてばメンテナンスが必要になることもあるかもしれないが、その時にすぐ処理をして元に戻るということが確保できていれば、大きな問題にならないと思う。

- ・ゾーン1は現状舗装の状態が悪いが、石畳風舗装で補修されれば、現状よりグレードアップし耐久性の強いものになると思う。

～今後の整備の方向性～

これまでの検討会議の議論を踏まえるとともに、土系舗装の試験施工を実施し、各ゾーンの路面デザインの実具体化を進める。

試験場所、時期については裏面参照